

令和2年（2020年）7月 8日

Withコロナのストレス時代にむけた、 メンタル自己管理サービス「マインドスケール」を提供開始 ～山形大のアルゴリズムの研究シーズ等を活用した共同開発により Yume Cloud Japan (ユメクラウド)が展開～

【本件のポイント】

- 山形大学、東北大学、東北芸術工科大学等と連携して、株式会社Yume Cloud Japanは、経済産業省サポイン事業の支援により、IoT・AI・クラウド技術による人の感情の分析ツール「感情表現エンジン」を共同開発してきた。
- 「感情表現エンジン」は音声・脈波・行動等などの複数の要素から、IoTデバイス技術やAIによる統計的判別などにより人の感情を分析する技術研究で、Yume Cloud Japan（ユメクラウド）では、この技術を活用したオンラインメンタルケアサービス事業「マインドスケール」の企業向け試験サービスを2020年7月より開始した。
- 音声・脈波・行動等の複合データによる高度な科学的分析と、ストレスチェック・改善プログラム作成・モニタリングの自動化により、新型コロナ時代のテレワークに対応したメンタルケアのサービスを提供していく予定。2023年にはオンラインサービスユーザー18万、スマホアプリユーザー450万人獲得を目指す。

【概要】

山形大学有機材料システム事業創出センター内に本社を持つ「株式会社 Yume Cloud Japan」が、山形大学等との連携により開発した、音声・脈波・行動等の複合データによる高度なストレス状態の分析およびストレスチェック・改善プログラム作成・モニタリングの自動化が可能な感情表現エンジンを使った、オンラインメンタルケアサービス事業「マインドスケール」のテスト・サービスを2020年7月より開始した。

感情表現エンジンは、経済産業省のサポイン事業（2019年～2022年）に採択され開発資金を確保し、山形大学学術研究院 横山道央准教授（電子デバイス・電子機器）、原田知親助教（知能情報学）、東北大学加齢医学研究所長 川島隆太教授、東北大学医療機器創生開発センター長 西條芳文教授、東北芸術工科大学 酒井聡准教授等との共同研究等により開発を進め、また山形大学国際事業化研究センター長 小野寺忠司教授のビジネスプラン策定支援等により、事業化の検討を進めてきた。

ITの普及により、コミュニケーションの簡便化、利便性が急速に進化する一方で、コミュニケーションの欠如や仕事のストレスから、全世界で精神疾患が増加しており、日本でも法令により、従業員50人以上の職場全てでストレスチェックを義務化するなどの対策を講じているが、記述式自己診断における信頼性や頻度の少なさおよびストレスの原因確認が困難などの課題があり、抜本的な解決策には至っていない。

Yume Cloud Japanでは、感情表現エンジンを活用した独自サービスにより、自動で分析した感情を可視化し、また行動データとの関係性からストレスの原因を分析し、新型コロナ時代に対応したメンタルケアのサービスの提供を目指している。

【背景】

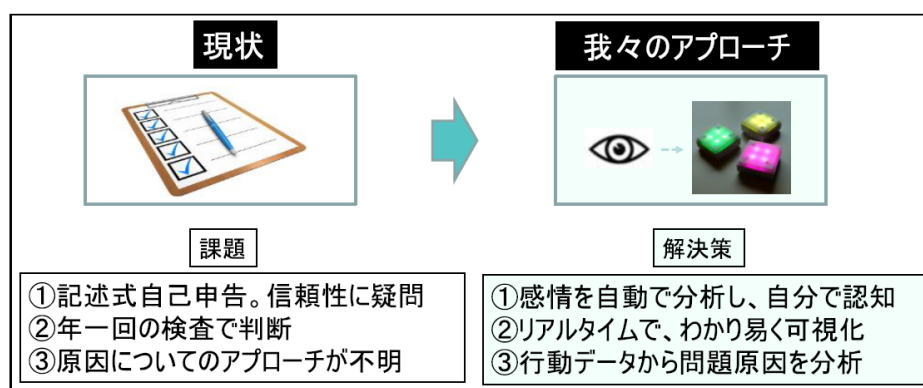
近年、コミュニケーションの欠如や仕事のストレスからメンタル問題を抱える人が増加し、深刻なメンタル問題を抱える人は、全世界で推計3億2200万人（WHO 報告、2005年比で18%増）であり、アメリカや日本では人口の1/4～1/5が高ストレスの状態にあるとされている。

2020年には、新型コロナウイルスにまつわる環境変化により「コロナ鬱」なる言葉が流行し、米国だけで8000万回のメンタルヘルス関連のオンライン診療が実施される見込みで、これは2019年に立てた2020年予測実施回数の36倍になる見込みである。

日本でも、オンラインカウンセリングの利用者数が急速に増加しており、今後利用者はさらに拡大することが予想されている。精神疾患や自殺などによる経済への影響は、2030年には55兆円に登ると想定され（Yume Cloud 試算）、非常に深刻な状況となっている。

また、テレワーク（在宅勤務）に切り替わる労働者の数も急増し、対面のコミュニケーションが減少。これまで毎日のように職場で接していた時には気づけた声色や顔色といった「変化」に上司が気づきづらくなってしまい、管理職には従業員のメンタルヘルス状態が見えづらくなる傾向にある。

【感情表現エンジンについて】



山形大学横山・原田研究室では、IoT センサネットワーク基盤システムについて研究を進めてきており、IoT センサモジュール開発・ネットワーク構築・計測データの収集管理と複合解析により、日常生活における様々なセンサデータを計測・処理・解析し、よりよい生活への支援に役立てるシステムを開発・評価してきた。このように、長年培って来たIoT センサーシステムを通じた複合データ収集と解析という山形大学の研究シーズを基に、今回 Yume Cloud Japan と山形大学が「感情表現エンジン」を共同開発した。

「感情表現エンジン」によりメンタルの状況を分析し、可視化、改善プログラムを作成する。「感情表現エンジン」を活用したストレスチェック用のデバイス・アプリ・サービスの導入によりメンタルケアの効率化・高度化を促進し、高ストレス者のストレス軽減の為の受け皿を構築する。

【Yume Cloud Japanの概要】

社 名： 株式会社 Yume Cloud Japan
所 在 地： 山形県米沢市（山形大学有機材料システム事業創出センター内）
代表取締役： 吉田 大輔
設 立： 2019 年 1 月
資 本 金： 1,600 万円

お問い合わせ

- ・株式会社 Yume Cloud Inc. 代表取締役 吉田 大輔
TEL 070-3350-0033 メール davy.yoshida@yume-cloud.com
- ・山形大学有機材料システム事業創出センター
コーディネーター 齋藤裕一
TEL 0238-26-3025 メール ysaito@yz.yamagata-u.ac.jp